

令和6年12月27日

保護者様

松本盲学校長

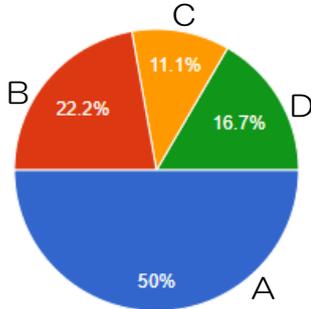
令和6年度 学校評価アンケート集計報告

先日は学校評価アンケートへのご協力、ありがとうございました。結果についてまとめたものをお伝えいたします。

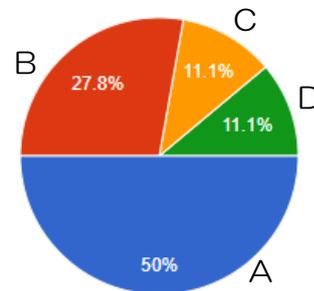
18件のご回答をいただきました。(回答率78%)

<学校目標実現に向けての取り組み>

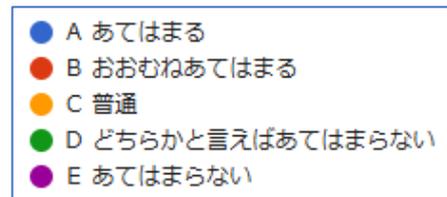
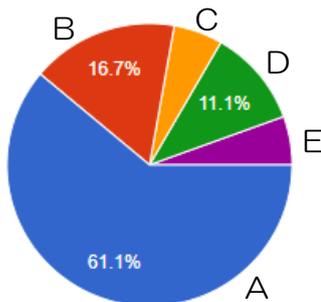
問1 学校は、いろいろな人と関わる人間関係作りや、コミュニケーション力の向上に努めている。(育む友情)



問2 学校は、日常的な健康管理、体力の維持・向上、障がいの自己理解のための指導に努めている(元気なからだ)

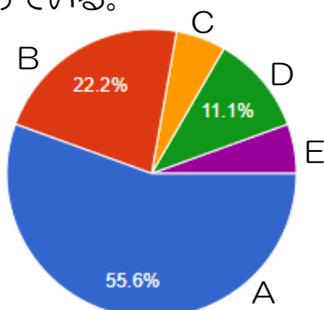


問3 学校は、視覚障がい教育の基本をふまえ、一人ひとりにあった適切な教育課程(時間割など)を仕組み、達成感と意欲がもてる授業づくりがなされている。(確かな学び)

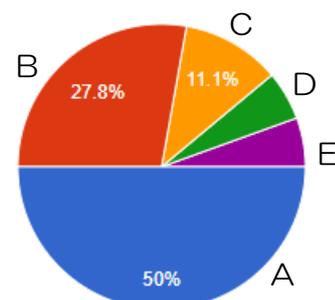


<家庭との連携の取り組み>

問4 学校は、保護者の思いや願いを聞く機会を設けている。

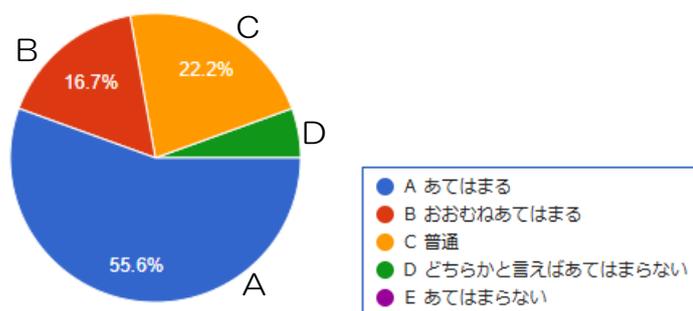


問5 学校は、児童・生徒や保護者の願いを大切にしながら個別の支援をしている。

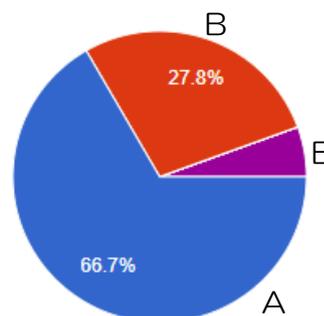


<教育活動の取り組み>

問6 学校は、幼児児童生徒の人権を尊重し、幼児児童生徒の相談に適切に応じ、解決や理解、支援に努めている。



問7 学校は、安心して安全な学校生活がおくられるように、安全で快適な配慮をしている。



<学校からの考察>

- 5段階評価でAとBの肯定的な割合が高く、全体としては高評価をいただきました。一方でDとEの評価もいただいています。改善に活かしたいと思います。
- 学校での取り組みの様子が分かりにくいなど、学校からの情報発信や開かれた学校への取り組みについてのご意見をいただきました。学習や行事の様子については、部日より、学校日より、あるいは連絡帳等でお伝えしていますが、授業研究や専門性に関する職員研修、個別の指導計画を基にした取組等についても発信していく必要があります。改善していきたいと思います。
- 参観日については、遠方から学校へ来ていただく負担を考え、参観日に研修会や講演会など多くの事を詰め込みがちですが、授業参観の時間が確保できるよう、研修や講演会を別の日に設定したり午後に行ったりといった工夫もしていきたいと思います。また、授業参観については参観日に限らずご都合の良い時にいつでもお越しください。その際は、事前に連絡をいただけますようお願いいたします。
- 各ご家庭との連絡については、部が上がるにつれ細かな様子から連絡事項へと変わっていきます。ご質問やご希望などについてはお返事を書いたり直接お話ししたりすることで対応していますが、不十分だというご意見もいただきました。真摯に受け止め、ご家庭との連携をより密にしていきたいと思います。
- 進路に関する情報発信については、「進路学習のしおり」や進路講演会などで行っていますが、不十分だというご意見もいただきました。低学年のうちから様々な進路についての情報を得られるよう、「進路学習のしおり」や参観日の懇談の内容などの見直しをしてまいります。

貴重なご意見、ありがとうございました。

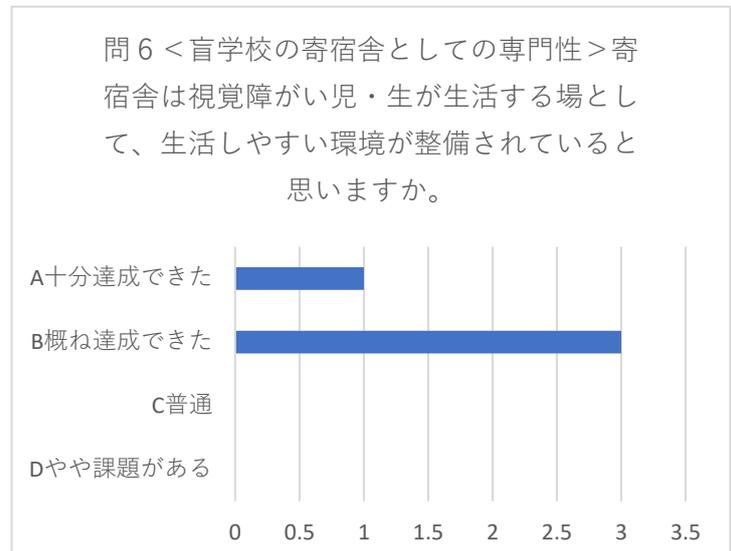
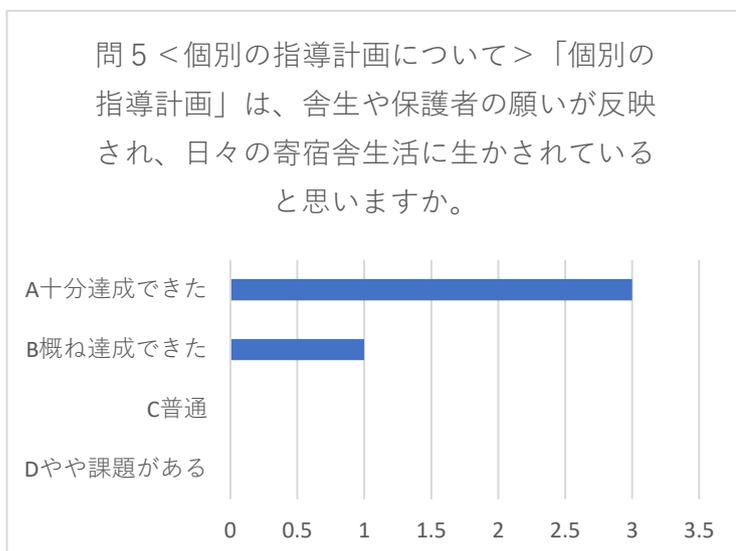
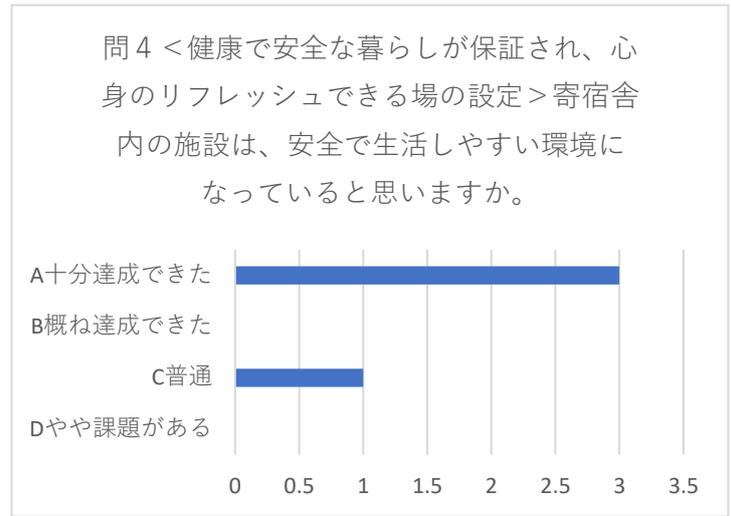
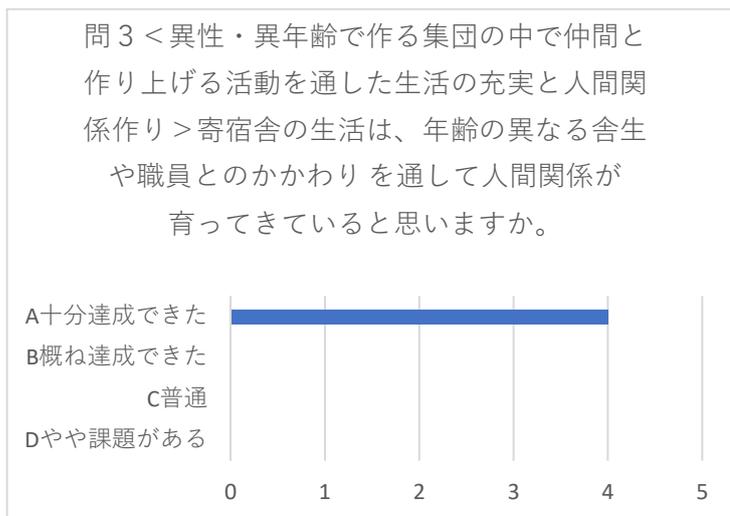
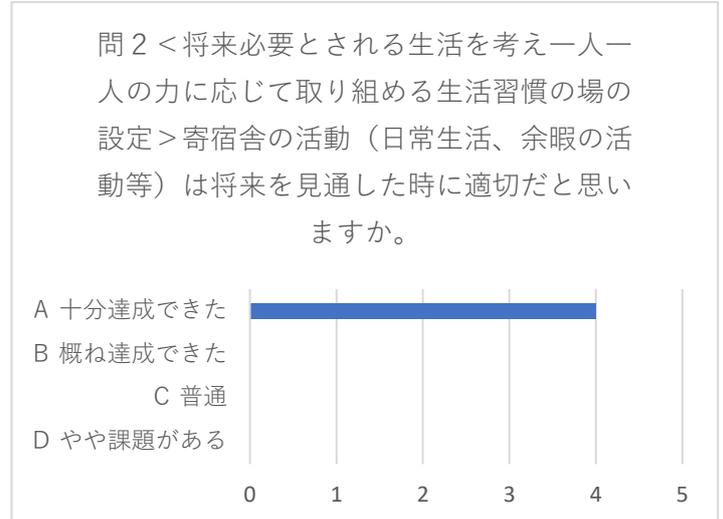
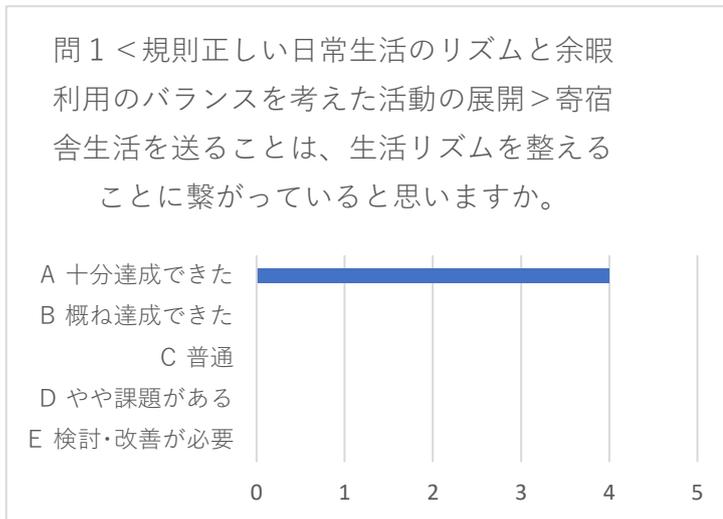
上記のアンケートに関する内容や、その他学校運営等に関するお問い合わせがありましたら、学校までお知らせください。

長野県松本盲学校	
校長	小林宏樹
教頭	小松秀樹
担当	帯川 泉
TEL	0263-32-1815

令和6年度 寄宿舍保護者アンケート集計報告

松本盲学校 寄宿舍

4名の方にお答えいただきました。（回答率 44%）



<問7 その他自由記述>

- ・今年はお楽しみ企画もあり、張り合いがあり充実している様子です。

<寄宿舍からの考察>

- ・日常生活のリズムや余暇のバランスを考えた活動を展開していきたいと思います。
- ・将来の大きな目標を見据え、スモールステップを積み重ねながら、また、保護者の方とも相談しながら、取り組む内容を考えていかねばと思います。
- ・お楽しみの企画も行ってきましたが、食事や歯磨き、掃除といった日常生活におけるスキルアップのための講座も実施してきました。また、有事の際に自分の身を守る手段を確認するために、避難訓練等も予行してきました。今後も寄宿舍だよりや連絡帳等で様子をお伝えしますのでご覧ください。
- ・後輩が先輩の姿をモデルにしたり、先輩が後輩を気にかける姿などが生活の中で見られます。様々な寄宿舍の活動を通じて、そういった姿が増えていくように支援していきたいと考えます。
- ・身障者トイレに手すりを増設していただきました。手すりのつかまり方や、車いすから安全に移乗する方法などについては、その時点で最善と思われる方法を繰り返し行います。さらに安全な方法が見つければ修正し、その方法を繰り返し支援し、より安全に移乗できるように取り組みたいと思います。今後も安全で生活しやすい環境づくりに努めていきたいと思います。
- ・個別の指導計画の作成については、引き続き年3回の保護者とのやり取りをさせていただきながら作成し、その後の支援に生かしていきたいと思います
- ・視覚に障がいを抱えている子たちが生活する場として、動線には気を配っていますが、何かお気づきの点がございましたらお知らせください。